

学校法人滋慶学園 北海道ハイテクノロジー専門学校
2023年度 学校関係者評価委員会 議事録

日時：2023年5月29日(月) 13:30-15:22

場所：北海道ハイテクノロジー専門学校 第5校舎シミュレーションセンター

参加委員は以下の通り

区分	氏名	所属	役職
保護者代表	松浦 つぐみ	学生の保護者	
高等学校関係者	大場 真哉	帯広大谷高等学校	教諭
地域関係者	早坂 貴敏	近隣関係者	北海道議会議員
業界関係者	藤澤 義博	北海道木古内町教育委員会	教育長
業界関係者	植松 努	株式会社 植松電機	代表取締役社長
業界関係者	白川 努	株式会社 サン格林太陽園	執行役員
業界関係者	長沼 利優	公益社団法人 北海道柔道整復師会	

欠席委員は以下の通り (6/12に訪問説明を実施済み)

区分	氏名	所属	役職
卒業生代表	佐伯 聡	株式会社 フロンティアサイエンス	代表取締役社長

事務局出席者は以下の通り

氏名	所属	役職
佐藤 俊	北海道ハイテクノロジー専門学校	学校長
正垣 雅規	学校法人 滋慶学園	理事
小川 昭久	学校法人 滋慶学園	理事運営本部長
三瓶 晃司	北海道ハイテクノロジー専門学校	事務局長
早坂 正利	北海道ハイテクノロジー専門学校	教務部長
荒木 周平	北海道ハイテクノロジー専門学校	コンプライアンスセンター長
佐々木 謙一	北海道ハイテクノロジー専門学校	学生サービスセンター長
川端 真理	北海道ハイテクノロジー専門学校	広報センター長
上野 正博	北海道ハイテクノロジー専門学校	産学・高専連携センター長
渥美 良和	北海道ハイテクノロジー専門学校	IT学部 学部長
蠣崎 こず恵	北海道ハイテクノロジー専門学校	医療学部 学部長

1. はじめに

学校長佐藤より挨拶。

2. 議長の選出

サングリン太陽園 白川努 様が選出された。

3. 委員会の概要

職業実践専門課程や学校関係者評価委員会の目的について事務局より説明がなされた。

特段、委員より質問・意見は出なかった。

4. 事業報告

事業報告について事務局より説明がなされた。

藤澤委員より中途退学数や就職状況、および入学者の出身地域分布について質問があり詳細を報告した。

●評価委員会議事の結果について●

1. 教育理念・目的・育成人材像について事務局より説明がなされた。

概要：産官学共同教育の実施の状況と共同教育の重要性について説明。産官学共同教育の実例として全日本プロレスとの連携事業の紹介、教育のDXの現状について報告。

植松委員より、DXを進めていくには学生自身の発信力を高めていく教育も必要。また学科間(職業を超えて)での連携や教育に協力している企業間での連携なども増えていく事を期待するとご意見をいただいた。

2. 学校運営について事務局より説明がなされた。

概要：学校運営についてはグループ5か年計画をもとに事業計画を作成し、コミュニケーションについては月1回の職員全員参加の会議、部門ごとの会議を行い一人ひとりの学生状況等の共有を行っている。

特段、委員より質問・意見は出なかった。

3. 教育活動について事務局より説明がなされた。

概要：教員の資質向上に対する研修を職員の熟練度に応じて実施。キャリア教育および授業アンケートの実施について報告。

特段、委員より質問・意見は出なかった。

4. 学修成果について事務局より説明がなされた。

概要：就職率の内訳、各学科の就職先、就職支援プログラムの内容について報告。国家試験対策センターの紹介及び国家試験結果の報告と分析結果の報告。

松浦議員より資格取得について、より上位の難関資格へも挑戦できる環境を用意するのが良いのではとご提案をいただいた。

5. 学生支援について事務局より説明がなされた。

概要：卒業生への就職支援体制の紹介及び鍼灸師学科でのリカレント教育支援開始の報告。

退学率の詳細及び退学防止へ向けた対策としてスクールカウンセラーの設置および各学科の退学者学生の特性分析結果と特性に合わせた学科ごとの対策内容について報告。

藤澤議員より発達障害など特性を持った学生に対するの取り組み(個別最適化)を検証していく今後増々重要になるとご意見をいただいた。また、学校側がどこまで学習環境を個別に設定していけるのかも今後の教育に影響していく。高校時代と専門学校入学後のイメージのズレが退学に繋がる考えれば、入学前に正しく教育を伝えて理解納得した上で入学してもらうことが大切とご意見をいただいた。

植松議員より本校の退学率の水準について、高いのか低いのか質問をいただいた。また、学生の授業参加に対するモチベーションが低い場合、講師はどこまで手を差し伸べることが出来るのか検討していきたい。

白川議員より退学者は、どのような理由で退学になったかなど経緯を共有して頂き一緒に改善へ繋げていきたいとご意見をいただいた。

松浦議員より入学前のイメージと入学後の教育に差異が大きいと退学に繋がる。その様な事例は無かったかご質問を受けた。学生が思い描いていた教育を提供できるよう最善を尽くして欲しいとご意見をいただいた。

6. 教育環境について事務局より説明がなされた。

概要：施設・設備・機器等は法令に準拠している。学園が所有する敷地・施設が広大なため、消防計画書を作成し統括防火管理者、防火管理者の専任と防災訓練の毎年実施している。産学連携としてプログラミングスクールの実施、ドローン資格を学内環境で所得できるようになった。

特段、委員より質問・意見は出なかった。

7. 学生の募集と受け入れについて事務局より説明がなされた。

概要：入学に関しては道専修各連の定めたルールに基づいて行っている。北海道各地方からの入学希望者に対するサポートとして出張学校説明会を実施している。

特段、委員より質問・意見は出なかった。

8. 財務について事務局より説明がなされた。

概要：財務状況は学校ホームページにて公開している。教育の充実が図られているため入学者も増加し財務状況も好転している。

特段、委員より質問・意見は出なかった。

9. 法令等の遵守について事務局より説明がなされた。

概要：個人情報保護の体制については TRUST-e を取得し、その内容についても学校ホームページにて公開している。IT リテラシー向上を目的に、全学生及び職員が IT リテラシーテストを毎年実施している。

特段、委員より質問・意見は出なかった。

10. 社会貢献

概要：附帯事業として総合型地域スポーツクラブ、北海道ハイテク AC の紹介。社会貢献として市民防災イベント、高齢者健康サポート、各種マラソン大会、Redbull400 大会サポート等の事例紹介。

特段、委員より質問・意見は出なかった。

11. 国際交流

概要：2022 年度は新型コロナウイルス流行下で海外研修の実施は無かったがオンラインで海外で活躍する卒業生による特別授業の実施や、海外との学生交流会を実施した。

特段、委員より質問・意見は出なかった。

12. 全体を通してご質問・ご意見

藤澤議員より入学者に関して最終的に入学を決めるのは誰なのか？ 中学、高校では自己推薦制度がスタートし今後これがスタンダードになっていくとすれば、入学者の学生像が変化してくるかもしれない。保護者へのアプローチが必要なのか、高校教員への意思変革が必要なのか、募集に関しても各入学者の意思決定に関する状況によってそれに応じた対応が必要になるかもしれないとご意見をいた

だいた。

また、学生が学んでいる内容をアウトプットできる状況があることはとても重要。学生自身が学んでいる内容をどのように社会に貢献できるのかイメージし、切磋琢磨できる事はとても有益である。今後もこのような活動は継続して行って欲しいとご意見をいただいた。

大場議員より柔道大会などで北海道ハイテクの柔道整復師学科のサポートを目にしていた。本日の委員会で学校を訪問した際も学生が挨拶してくれた。このことから、どんな教育がなされているのかを想像することが出来たし教育の成果を感じたとご意見をいただいた。

評価表に評価を記入していただき閉会 15:22